

令和 2 年度第 23 回庁議提案 審議・報告・その他

提出日：令和 3 年 3 月 9 日

担当部・課：総務部危機対策課〔内線 4158〕

① 件名	防災活動支援事業の実施について（新型コロナウイルス感染症対策）
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）	<p>【背景】 新型コロナウイルス感染症拡大の状況において、災害が発生し避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期すことが必須となっている。 本市では「石巻市避難所開設マニュアル（新型コロナウイルス対策）」を策定し、現在まで避難所の備蓄品の配備を進めてきており、また、市総合防災訓練をはじめ、各地区で避難所開設訓練を実施している。</p> <p>【目的】 避難所開設訓練の検証を踏まえ、パーテーション及び段ボールベッドを追加購入し、避難所内の更なる感染拡大防止等に努める。</p>
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性	<p>【根拠法令】 災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）</p> <p>【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・無〕 又は 〔個別計画との整合性〕】 第 4 章 安心して健やかに暮らせるまち 第 7 節 災害に対する備えを充実する 3 防災意識の向上と円滑な避難体制をつくる</p>
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）	<p>令和 2 年 5 月 備蓄品として消毒液、マスク、非接触型体温計等を購入、配備 7 月 市職員向け「避難所運用に関する研修訓練」の実施 11 月 総合防災訓練で学校や自主防災会等が参加する避難所開設訓練を実施 （青葉中学校、渡波中学校、向陽小学校） ※万石浦中学校や開北小学校でも同様の訓練を実施</p> <p>令和 3 年 3 月 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画裁定</p>
⑤ 主な内容	<p>災害発生時における避難所での感染拡大防止対策として、避難所開設資材を追加購入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーテーション 一般避難者スペースにおいて、飛沫感染の防止を図る。 新規配備数 1,500 張（既配備数 864 張） ・段ボールベッド 感染の疑いのある方の対策スペース（空き教室等）に配備する。 新規配備数 200 台（各避難所 4 台配備）
⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）	<p>【影響・効果】 避難所内の感染拡大防止等が図られる。</p> <p>【財源措置】 事業費 40,000 千円 （財源）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国） 36,000 千円 一般財源 4,000 千円</p>

⑦ 他の自治体の政策との比較検討

他市町村の実施（予定）状況

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画

市町村名	主な避難所配備資機材		総事業費
東松島市	テント、パーテーション	1,518 張	62,165 千円
	段ボールベッド	1,380 台	
白石市	パーテーション	1,620 張	55,949 千円
	段ボールベッド	410 台	
栗原市	間仕切り	1,355 台	81,000 千円
	段ボールベッド	86 台	
岩沼市	パーテーション	282 張	13,808 千円
	簡易ベッド	70 台	
気仙沼市	間仕切りテント	1,330 張	44,546 千円
	間仕切り段ボール	550 個	
名取市	パーテーション	200 張	32,600 千円
	段ボールベッド	30 台	
登米市	避難ルーム	6,000 台	103,162 千円
	エアベッド	6,000 台	

⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

令和3年 3月 市議会第1回定例会に当初補正予算案を提案
4月～ パーテーション及び段ボールベッドの購入、配備

⑨ その他